

## 川内原発の再稼働は「夏以降」にズシこみ？ 窮地に立つ九電を、皆で追いつめよう



▲福島・鹿児島の子たちの東京総行動

2月6日の朝刊では、川内原発の「再稼働は夏以降か」という報道が流れました。前日の規制委員会の審査で、九電が再稼働に向けた「工程表」を出させられたのです。いつまでも工事計画書や保安規定を出せない九電に、規制委がシビレを切らした結果です。

### ●安全確保もできていないのに、再稼働？

九電は「安全対策工事はやり終えた」と、ずっと言い続けてきました。ところが手続きに違反し、地震の想定が抜けていたことなどが次々明らかになりました(1/28 交渉)。九電の書類がまとまらないのも当たり前。「工程表」を出したとしても、空証文にならない保証はありません。

九電はずっと、実現性がない再稼働日程を垂れ流してきました。昨年春ごろは、「夏にも再稼働」という報道がされていたものです。それ

によって住民の気持ちを追いこみ、「仕方がない」、とあきらめさせることが狙いでした。

これからは違います。もうだまされません。

### ●再稼働阻止に向け、新しい行動を起こそう

私たちはもういちど腰をすえなおし、原発の要否、再稼働の是非について話し合い、考え、行動していくことが必要でしょう。

2月4～5日、福島と鹿児島の子たち40人は、東京の人々といっしょに総行動を行いました。首相官邸、経産省、規制委員会など「原子カムラ」の面々に対し、「再稼働反対」の抗議行動を繰り返しました。また3月2日には、全九州・全国から人々が集まって、九電への申入れ行動が取り組まれます。それに向け、緊急署名運動も進んでいます(裏面参照)。

どんどん新しい行動を起こし、九電と「原子カムラ」を追いこんでいきましょう。